

2023年5月第1回理事会議事録

日 時：2023年5月13日（土）14：00～17：00

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出 席：辻 秀人・大竹幸恵・佐藤宏之・足立佳代・足立拓朗・岩本 崇・大坪志子・亀田直美・小菅将夫・澤田秀実・高倉 純・田尻義了・谷口 榮・谷畑美帆・肥後弘幸・藤沢 敦・藤野次史・水本和美・溝口孝司、監事：都築恵美子・萩野谷悟、（事務局：山崎和巳・林 純子・近藤絵里奈）

欠 席：岡林孝作・黒澤 浩・野口 淳・日高 慎

進 行：足立佳代

議 長：辻 秀人

足立佳代理事から、本日の出席者は23名（うち理事21名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

小菅理事から、埼玉県の中島利治会員が2023年4月15日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第721号 退会会員の承認について

小菅理事から、宮城県の*会員、栃木県の*会員、東京都の*会員、神奈川県*の*会員、大阪府の*会員、兵庫県の*会員、岡山県の*会員、香川県の*会員、大分県の*会員、沖縄県の*会員から2022年度をもつての退会届、北海道の*会員、岩手県の*会員、群馬県の*会員、埼玉県の*会員、神奈川県*の*会員、石川県の*会員、静岡県の*会員・*会員、愛知県の*会員、大阪府の*会員、岡山県の*会員、広島県の*会員、福岡県の*会員、佐賀県の*会員から2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

また、賛助会員（学生会員）の*会員、*会員から2023年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第722号 機関誌『日本考古学』編集委員会委員の選任等について

澤田理事から、寺前直人委員・笹生 衛委員2名が任期満了により退任すること、及び2022年12月理事会議案第706号での承認を受けて編集委員会を12名構成とすることから、新たに東京都の眞保昌弘会員、神奈川県*の小林 克会員、京都府の若林邦彦会員・山田邦和会員、奈良県の岡田憲一会員・狭川真一会員、広島県の鈴木康之会員を選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第723号 広報委員会委員の選任等について

大竹副会長から、協会公式サイトのリニューアルの検討にあたり、今後のシステムの検討・運用について詳しい知識を有する奈良県の高田祐一会員を新たに委員として選任した

いとの説明があり、原案通り承認された。

議案第724号 2023年度特別会計予算案の承認について

谷口理事から、本来予算承認を受ける3月理事会後に、令和4（2022）年度科学研究費補助金の本年度への繰越申請が認められたことから、繰越額を収入として作成した2023年度特別会計予算の提案があり、原案通り承認された。

議案第725号 2022年度決算及び監査報告について

肥後理事から、2022年度決算関係書類の提示があり、①全体的な正味財産は前年度より増額となったこと、②一般会計においては、予算額に比べて、旅費交通費は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各種会議でのオンラインの活用により大幅な減少となったものの、印刷製本費等は物価上昇に伴い予算が不足したことから予備費を使用したとの説明があった。また、特別会計の科学研究費補助金の収支計算書が提示された。

続けて萩野谷監事から、5月10日（水）に監査を実施し、2022年度の事業及び会計書類を監査した結果、適正に行われたと判断したとの報告があった。なお、『Japanese Journal of Archaeology』の刊行事業については、計画的な事業執行への改善を求めたいとの指摘があり、今後検討することとなった。

審議の結果、2022年度決算及び監査報告については原案通り承認された。

報告第934号 2023年度新入会員候補者の決定・異議申し立て結果に関わる総会提案について

谷畑理事から、正会員の資格基準該当者に対し、全正会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに1名に対して異議申し立てがあった。第3回入会資格審査委員会は、メール審議で日沖委員長・田尾副委員長・担当理事4名で実施し、協議の結果、指摘された事項については既に手続きを行っており瑕疵はなく、また入会意志、業績等については提出された資料を対象として規則及び内規に照らした上で確認されたものであり、資格基準を満たしていると判断した。よって、2023年度新入正会員の入会資格審査は、申込み総数34名、うち1名は申込みを辞退し、33名が内定者となり、第89回総会にて承認を受けるかたちとなったことが説明され、了承された。

報告第935号 2023年度第89回総会の全体進行について

田尻理事から、2023年度第89回総会について、「総会実施要項」に基づき集合時間等日程並びに進行、役割分担等が確認された。また定時総会議事進行台本案が提示され、総会進行について提出された原稿通りの説明が求められ、了承された。

報告第936号 アウトリーチワーキンググループ・カフェde考古学第1回の報告

足立佳代理事から、4月8日（土）にカフェde考古学2023第1回「近現代遺跡をどう守り伝えるのか」を埋蔵文化財保護対策委員会ミニシンポジウムとして3例の事例報告と事前の質問事項を基にしたトークセッションを開催し、約70名の参加を得たことが報告された。併せて終了後に実施したアンケート結果が提示され様々な意見を得たとの説明があり、

了承された。

報告第937号 日本考古学年報のPDF化について

亀田理事から、年報担当理事では『日本考古学年報』のPDFデータ化について、冊子体作成の販売及び会員への配布は継続しつつ、PDFデータを提供できるように検討していることが報告された。冊子体が不要な会員への送料や印刷費の削減が見込めるが、課題としては、WEB公開における著作権の確認、PDFデータの提供方法、データ提供を協会公式サイトに会員専用ページ作成して行う場合はその管理体制や公式サイトリニューアル事業との連携等があり、また会員への丁寧な案内や周知が必要であるとの説明があり、了承された。

報告第938号 各委員会等における2022年度会議等報告について（その7）

1 広報委員会の報告

大竹副会長から、4月29日（土）に委員会をオンラインで開催し、①公式サイト検討ワーキンググループの現メンバーの任期は3月末までだったが、事業継続に伴い任期の継続について全員から承諾を受けて再任した。②公式サイトリニューアルについて、作業の進捗状況及びリニューアル実施までの年間スケジュールを確認した。③カフェde考古学2023第1回の実施報告を受けた。④考古学スクエア2023・春の一環である出版社合同パンフレットの配布費用負担について依頼元である出版社に負担いただくことしたとの報告があり、了承された。

2 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

小菅理事から、4月2日（日）に委員会をオンラインで開催し、①「歴史教科書を考える」第19号・第20号の印刷について協議した。②協会公式サイトに掲載するWebコンテンツについて、GIGAスクール構想に対応したコンテンツとするために外部コンテンツの運用も検討する。③12月実施予定のカフェde考古学2023第5回についてYouTubeでの配信も検討しており著作権の問題など実施方法を検討しているとの報告があり、了承された。

3 埋蔵文化財保護対策委員会幹事会の報告

藤野理事から、4月16日（土）に幹事会を対面とオンラインのハイブリッド方式で開催し、①港区高輪築堤跡について、5・6街区の開発計画の進捗はみられないものの引き続き情報収集に努める。②広島市広島城跡の開発計画について要望書の内容を協議した。③島根県教育委員会に近代遺跡の取り扱いについての専門委員会の立ち上げが検討されているとの報告を受けた。④山口県防府市役所の建て替えについて引き続き情報を注視する。⑤埋蔵文化財保護対策委員会担当のカフェde考古学2023第1回について約70名ほどの参加を得たことが報告された。⑥第89回総会におけるポスターセッションの作業進捗等の確認を行った。⑦沖縄県名護市嘉陽上グスクにおいて道路建設計画があり注視していくとの報告があり、了承された。

4 機関誌『日本考古学』編集委員会の報告

澤田理事から、4月4日（火）に編集委員会をオンラインで開催し、①『日本考古学』

第57号の原稿の投稿状況や特集の進捗状況について確認した。②「機関誌『日本考古学』編集委員会規定」第6条の査読委員に関する項目について改正案を協議した。③複数の査読結果が大きく異なった場合の対応について認識を共有した。④任期満了の委員の交代及び委員会規定改正による増員の委員候補を選任したとの報告があり、了承された。

5 アーカイブス小委員会の報告

足立理事から、4月20日（木）に委員会を開催し、①2022年度に行った各刊行物や会員調査票等のデータ化、過去の委員会関係資料の整理状況について確認した。②今年度の事業計画について予算に基づき協議し、刊行物のデジタルデータ化の委託事業内容及び法人関係資料や科研費関係事業等の資料整理を実施することとしたとの報告があり、了承された。

報告第939号 2022年度事業の総会口頭報告について

第89回（2023年度）総会議事における各説明担当理事から、それぞれ口頭説明の原稿が提示され、確認を行った。追加で修正点の指摘がある場合には各担当理事に直接連絡することとし、未提出の説明原稿については追加での提出が求められた。

報告第940号 臨時理事会の議案「常務理事の選任について」について

佐藤副会長から、第89回総会において常務理事の承認が得られたら、定時総会終了後に常務理事を選任する臨時理事会を開催することが説明され、了承された。

報告第941号 会費高額滞納者への督促結果と会員資格の喪失について

山崎事務局長から、2020～2022年度会費の滞納により下記の正会員10名が、定款第11条第1項1号に則り会員資格を喪失したとの報告があり、了承された。なお、連絡先を把握している者については滞納会費の督促は継続する。

（宮城県）、（群馬県）、*（埼玉県）、*（埼玉県）、*（千葉県）、*（長崎県）、*（熊本県）、*（熊本県）、*（大分県）、*（沖縄県）

報告第942号 後援（名義使用）の承認について

山崎事務局長から、①九州国立博物館（兼福岡県立アジア文化交流センター）から「全国高等学校歴史学フォーラム2023」についての後援（名義）依頼が、②日本学術会議INQUA小委員会から公開シンポジウム「最終氷期以降の日本列島の気候・環境変動と人類の応答」についての後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承された。

その他

1 第14回日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について

山崎事務局長から、日本学術振興会から今年度育志賞について候補者の推薦依頼の案内があり、協会ホームページに掲載することが説明された。

2 公益信託 吉田学記念文化財科学研究助成基金の助成申請募集案内について

山崎事務局長から、公益信託 吉田学記念文化財科学研究助成基金受託者から今年度の助成募集案内があり、協会ホームページに掲載することが説明された。

3 5月及び今後の2023年度の主な会議等日程

山崎事務局長から、2023年度に予定されている理事会や総務会等の日程が提示された。続けて辻会長から、新型コロナウイルス感染症の影響から社会が脱しつつあることを受けて理事会を原則的に対面開催としつつオンライン参加も認めるハイブリッド方式とすることが説明された。

4 高校生ポスターセッション参加記念品の募集

足立拓朗理事から、第89回（2023年度）総会における高校生ポスターセッション記念品として、参加件数分の刊行物等の寄贈が各理事に求められた。

以 上